

FUKI iNAHO インターロック 暗証番号電子錠 MIWA LSPタイプ 鍵交換方法

1. MIWA LSPタイプ シリンダーをインターロックに交換していきます。プラスドライバーをご用意下さい。



2. まずはドア側面の錠ケース刻印を確認して下さい。【MIWA LSP】の刻印があります。



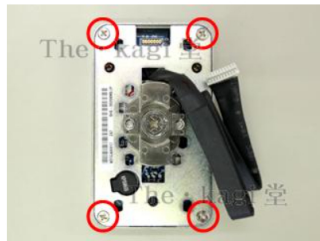
3. インターロック「リーダー本体」の取り付け準備を行っていきます。



4. まず、リーダー裏側のゴムプレートを外して下さい。



5. すると四隅にネジが現れます。



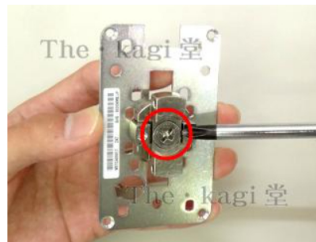
6. 四隅のネジ全てをプラスドライバーで外して下さい。



7. 先ほどのネジ全てを外すと、リーダーの裏ぶたを取り外すことができます。



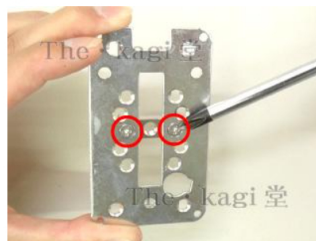
8. 取り外した裏ぶたの中央にある大きいネジをプラスドライバーで外して下さい。



9. 写真右側のアタッチメントが外れます。



10. 次に裏ぶたの反対側、赤丸部分のネジを外します。



11. 小さい方のアタッチメントも外れます。

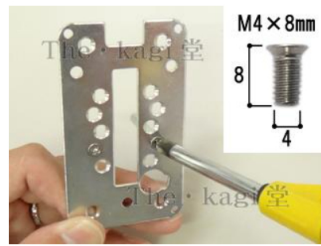


12. 続いて商品付属の「強化引き足」を2本準備し、取り付け向きに注意しながら赤丸の穴にセットします。黒丸の穴はリーダー取り付け位置の調整時にお使い下さい。



13. 先程の引き足を商品付属の「M4×8 特皿ネジ」で反対側から留め付けます。

14. 写真のように引き足が2本立っている状態になります。



15.引き足を取り付けた裏ぶたをリーダーに戻して下さい。



16.元のように四隅をネジで留め付けます。



17.ゴムプレートを戻します。



18.これでリーダーの取り付け準備は完了です。



19.次にインターロック「ボディ本体」の取り付け準備を行っていきます。



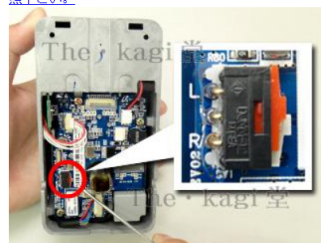
20.まずはボディの裏ぶたを外して下さい。



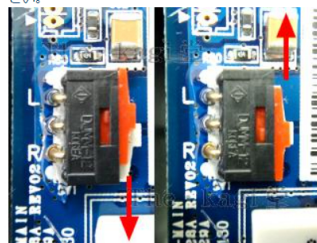
21.ボディ内部基盤、赤丸部分のみでドア勝手の設定を行います。※ドア勝手についてはこちらを参照下さい。



22.基盤の赤いつまみを上下にスライドさせ、左勝手の場合は「L」、右勝手の場合は「R」に設定して下さい。



23.商品付属の「センサーケーブル」を用意して下さい。



24.センサーケーブルをボディ本体、赤丸部分のコンネクター受け側に差込みます。



25.「センサーケーブル」のコンネクター差込側の拡大写真です。



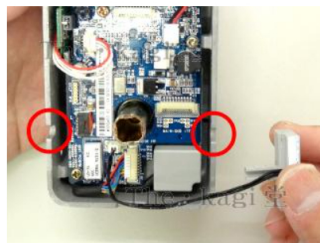
26.ボディ本体、コンネクター受け側の拡大写真です。コンネクターは奥まで確実に差し込んで下さい。





27.センサーを赤丸部分の切り込みにセットします。

28.取り付け位置は3段階で調整可能です。【交換手順57】の作業でセンサーとマグネットの間隔が1.5cm以下となるように調整して取り付け下さい。



29.センサーはドアの開く側に取り付けます。

30.続いてボディの裏ぶたからゴムプレートを取り、赤丸部分に突起がありますので、センサーを付けた側を切り取ります。



31.怪我に十分気をつけ、ハサミやカッターなどで切り取って下さい。

32.ゴムプレートと裏ぶたを合わせたら、これでボディの取り付け準備は完了です。



33.ここからはドアへのインターロック取り付け説明をしていきます。まずシリンダーを外して下さい。
※LSPシリンダーの取り外し方法はこちらをご参照下さい。

34.室外側からドアと錠ケースの隙間にリーダー本体裏のケーブルを通します。ケーブルを無理に引っ張ったり、切断・破損しないように慎重に作業して下さい。



35.ケーブルを通す隙間がない場合は錠ケースを外してから配線を行います。※LSPハンドルセットの取り外し方法はこちらをご参照下さい。

36.大抵の場合はケーブルを通し辛いので、錠ケースを外してできた隙間に配線を通し、再度錠ケースを取り付ける作業を行って下さい。



37.配線完了後、リーダー本体の引き足を錠ケースのネジ用貫通穴に通します。

38.ケーブルの折れなどに気をつけながらドアに密着させます。



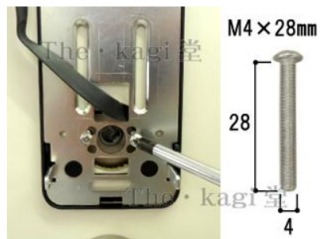
39.室内側に通したケーブルをボディ裏面の中心の角穴に通します。



40.赤丸部分を錠ケースのネジ用貫通穴に合わせながらドアに密着させます。



41.先程合わせた穴を商品付属の「M4×28 特ナベネジ」で留め付けます。



42.続いて、ケーブルコネクタをボディ本体の赤丸部分に接続します。



43.ボディ本体、ケーブルコネクタ受け側の拡大写真です。



44.ケーブルコネクタは向きに気をつけ、奥まで確実に差し込んで下さい。



45.次に商品付属の「角芯」を準備します。ドア厚が40mm以下の場合は短い角芯を、40mm以上の場合には長い角芯を使用して下さい。



46.錠ケースのサムターン取り付け穴に角芯をセットします。



47.錠ケースのサムターン取り付け穴形状に合わせて角芯をセットし、赤矢印の段差まで差し込んで下さい。



48.ボディ本体の筒状部分に付属スプリングをセットします。



49.一度ボディ本体をドアに取り付け、サムターンとデッドボルトが確実に運動しているか確認して下さい。動かない場合はボディのサムターンを90度回した位置で再度取り付けて下さい。



50.両面テープの上紙をはがし、センサーの貼り付け準備をします。



51.不具合の原因となりますので、本体取り付けの際はケーブル等を圧迫しないように取り付けして下さい。



52.ボディ本体はドアにしっかりと密着させて下さい。





53.商品付属の「M3×5 特皿ネジ」を準備し、ボディの側面を留め付けて下さい。



54.同じく反対側も留め付けて下さい。



55.次にボディ本体の電池ケースを取り出します。



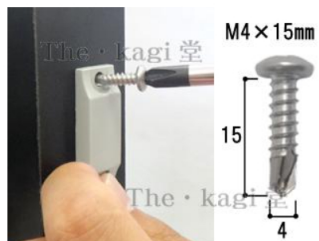
56.さらに「M3×5 特皿ネジ」で電池ケース奥の赤丸部分を留め付けて下さい。



57.続いて、商品付属の「マグネット」をドア枠に取り付けます。両面テープか付属のネジで確実に固定し、**センサーとマグネットの間隔は1.5cm以下となるように**取り付けして下さい。



58.ネジで固定する場合は、商品付属の「セルフドリリングネジ M4×15 トラス」を2本ご使用下さい。



59.ボディ本体にアルカリ電池4本をセットします。



60.最後に動作確認をして作業完了です。



比較的簡単にお取替出来ますが、
お困りな事、ご不明な点ございましたら
お気軽に当店までお問い合わせ下さい。
お問い合わせ 《 dewalock@arion.ocn.ne.jp 》
《 [FUJI INAHO インターロック 商品ページ](#) 》
《 [The・Kagi堂トップページはこちら](#) 》

画像の無断使用、流用は固くお断りします。